

生活の医学Ⅱ

科目ナンバリング BAM-102
選択 2単位

木村 理夫

1. 授業の概要(ねらい)

日本は少子化・超高齢化社会に突入しており、個々人の生活の質を改善し健康寿命を延長させることは喫緊の課題であります。本講義では、春期の「生活の医学Ⅰ」で学んだ運動器の構造とそれを調節する神経系の働きについての基礎的な知識をふまえ、代表的な運動器外傷の各論、スポーツ医学と障害、加齢に伴う運動器の変性疾患について知識を習得できるように構成しました。また、視覚器や聴覚器の構造と働きや、春期講義でも学習した脳の重要な働きである社会脳(ソーシャルブレインズ)の各論、人口の高齢化に伴い大きな社会問題となっている認知症、さらに老化(エイジング)のメカニズムなどに関しても講義します。

本科目は、実務経験のある教員による授業です。担当教員は国家資格を有する医師であり、整形外科、リハビリテーション、スポーツ医学、手外科、脊髄・末梢神経外科、四肢再建外科を専門としております。臨床医療での実例や現場での課題を交えて講義を展開していきます。

2. 授業の到達目標

我々の身体の運動器系の外傷や疾患、スポーツ医学と障害、加齢によって生じる脳機能障害である認知症、社会脳としての脳の働きなどについて理解を深め、実生活に役立てること。

3. 成績評価の方法および基準

講義中の学習態度(10%)、試験の成績(90%)を総合して評価する。

欠席が4回以上(補講も含む)の場合は、単位を付与しない。

公欠は出席扱いとするが、回数が多い場合は、別途課題を課す場合がある。

講義中に理解度確認テストを2回行うが、合計で6割以上の得点が成績評価および単位取得に必要である。

4. 教科書・参考文献

教科書

特定のテキストは使用しない。講義ごとにレジュメを配布する。

参考文献

一般社団法人 日本スポーツ医学検定機構 スポーツ医学検定 公式テキスト1級 東洋館出版社

医療情報科学研究所 編 病気がみえる vol. 11 運動器・整形外科 MEDIC MEDIA

岩堀秀明 図解 感覚器の進化 講談社ブルーバックス

山口真美 視覚世界の謎に迫る 講談社ブルーバックス

伊藤亜紗 『目の見えない人は世界をどう見ているのか』 光文社新書

杉浦彩子 驚異の小器官 耳の科学 講談社ブルーバックス

森岡周 『脳を学ぶ「ヒト」とその社会がわかる生物学』 協同医書出版社

藤井直敬 『ソーシャルブレインズ入門 <社会脳>って何だろう』 講談社現代新書

藤井直敬 つながる脳 新潮文庫

ジャコモ・リゾラッティほか 『ミラーニューロン』 紀伊國屋書店

伊古田俊夫 『社会脳から見た認知症』 講談社ブルーバックス

久賀谷 亮 脳が老いない世界—シンプルな方法— ダイヤモンド社

5. 準備学習の内容

MELIC内の参考図書やweb検索などで、積極的に準備学習、復習をすることが望ましい。

LMS上に連絡事項や資料も載せるので、毎講義前・後に随時確認すること。

6. その他履修上の注意事項

授業中の私語は厳禁で、目につけばその場で退室を命じ、その後の履修継続は認めない。

7. 授業内容

- 【第1回】 運動器の外傷総論
- 【第2回】 上肢の構造と外傷
- 【第3回】 下肢の構造と外傷
- 【第4回】 脊椎・脊髄の構造と外傷
- 【第5回】 スポーツ医学総論
- 【第6回】 スポーツによる外傷、障害
- 【第7回】 前半のまとめ、理解度確認テスト1
- 【第8回】 関節の構造と加齢性疾患、関節リウマチ
- 【第9回】 視覚器の構造と働き
- 【第10回】 聴覚器の構造と働き
- 【第11回】 社会脳(ソーシャルブレインズ)と認知症
- 【第12回】 脳の働き: 認知コスト
- 【第13回】 脳の働き: 母子関係とリスク
- 【第14回】 老化(エイジング)の科学
- 【第15回】 後半のまとめ、理解度確認テスト2